

グッドマナーキャンペーン

取組事例集



令和3年度 グッドマナーキャンペーン啓発ポスター

心の教育推進協議会が主催する「グッドマナーキャンペーン」は、すべての大人が子育てに関わり、社会全体で青少年の規範意識の向上を図るなど、心の教育を推進する気運を高めるために実施しており、令和3年度で21年目を迎えました。

令和3年度に実施しましたアンケートから、グッドマナーキャンペーンをさらに充実させるには、各団体との連携や子どもと一緒に取り組める活動の工夫が必要であり、その具体的な活動事例があるとよいことが分かりました。

令和3年度の報告書では、独自の新たな取組や他団体と連携・協力を図り活動する取組が見られたことから、事例集を作成することとしました。

本事例集を有効に活用していただき、団体、企業、学校の連携・協力がより一層推進されることにより、すべての大人が石川の子どもたちの心を豊かに育ていけるよう、心の教育を推進する機運が高まることを期待しています。

心の教育推進協議会

1. 団体や学校間との連携



※令和3年度の報告書を元に
事例集を作成しています。



【ライオンズクラブ国際協会334-D 地区4R1Z】

活動名称

小中学校と連携した
元気の出る挨拶標語

連携している団体等

小松市内小中学校
JR西日本（加賀温泉駅、小松駅、能美根上駅）
4R1Zの5つのライオンズクラブ
（加賀 LC、小松 LC、能美 LC、小松青雲 LC、小松中央 LC）

活動内容

〔目的・願い〕

- ・子どもたちが挨拶標語をつくることで、挨拶の大切さに気づく
- ・大人も挨拶の大切さを再確認し、職場や家庭が明るくなる
- ・挨拶の輪が広がり豊かな人間関係と住み良い環境が築かれる



これからも駅を行き交う人に挨拶をしていきます！と頼もしい声をいただきました（小松駅）

〔活動の概要〕

南加賀地区5つのライオンズクラブが行っているグッドマナーキャンペーン活動に合わせ、小松市内全ての小中学校から『挨拶したくなる標語』を募集し、南加賀の主要な駅に掲示することで、挨拶の輪が広がり地域コミュニケーションの活性化を図り、豊かな人間関係と住み良い生活環境を築くことに繋がることを願って実施。

〔標語の掲示〕

- 「おはようとみんなに笑顔プレゼント」
- 「おはようでマスクごしから笑顔さく」
- 「ありがとうその一言が愛言葉」
- 「あいさつで心の花に水やりを」
- 「『おはよう』と見守る方へありがとう」
- 「あいさつはきもちよくなる にっこにこ」



小松中央 LC50 周年式典に合わせ、入選者表彰式を行いました！ご本人と親御さんから大変喜ばれました！（木場潟中央園地にて）

〈将来大人になる子どもたちへ〉

今と未来はつながっています。笑顔の行き交う気持ちの良い未来を作りたいという想いを大切に温めていってください。夢は必ず実現します！



3クラブ合同で行っているグッドマナーキャンペーンの様子（9/1 小松駅コンコースにて）

感想・今後に向けて

- 標語には子どもたちの願いが込められています。生産性向上が求められるなかコロナの影響も加わり人との繋がりが希薄になっていくことに不安を感じるこの頃ですが、今を生きる私たちが率先して挨拶をすることで心が繋がる温かな地域社会を未来に届けたいと思いました。
- 4R1Zのライオンズ5クラブは引き続きグッドマナーキャンペーンを行っていく他、青少年健全育成の活動や社会奉仕活動を行い、住み良い地域をつくっていきます。

【 七尾市立能登島小学校 】

活動名称

グッドマナーキャンペーン
「感謝の気持ちを伝えよう！」

連携している団体等

能登島地域づくり協議会
能登島交通

活動内容

【目的】

日頃、お世話になっているバスの運転手さんやあいさつ運動に出てくださいっている方々に感謝の気持ちを伝える。

【すすめ方】

(1) 日頃、お世話になっている方々の思いをメッセージ動画で紹介

○バスの運転手さん、あいさつ運動の代表の方から
あいさつやバス乗車に関するマナーで気づかれた
ことや子どもたちへの願いをインタビュー



○全校、学活の時間にそれぞれの動画を視聴

(2) 感謝のメッセージを作成

○動画の視聴後、各学級でそれぞれお世話になって
いる方々へメッセージを書く

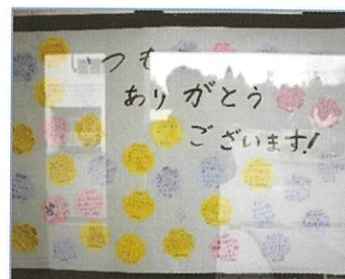
○全校児童が書いたメッセージを6年生が模造紙に
まとめる



(3) 感謝のメッセージ贈呈

○バスの運転手さんには児童から直接メッセージを贈呈

○あいさつ運動の方々には、
メッセージを児童玄関に
掲示し、メッセージを見
ていただいた



感想・今後に向けて

・児童の感想

「いつも、たくさんのことに気をつけて運転してくれて、ありがとうございます。
これからもよろしくお願いします。」

・今後に向けて

今年度は、インタビュー動画を通して思いを聞くことができたことで、新しい気付きがあったり、子どもたちの感想がより具体的なものになったりした。来年度も継続して取り組んでいきたい。

▶ PTA との連携事例

小松市立安宅中学校 ～PTA厚生委員による「思いやりメッセージ」～

○PTA 厚生委員が、生徒に向けて「思いやりの心」についてメッセージを作成。生徒玄関掲示板で紹介。

自分の中学校時代を振り返って、大人になった今、中学生に伝えたいことやコロナ禍の中学生を励ますメッセージが多く寄せられた。

○生徒会執行部を中心にストック運動（ストックの花言葉「思いやり」にちなんで命名）を実施。身の回りであった「思いやりあふれる行動」を生徒がカードに記入、掲示後、全校集会でカードの内容を紹介。

★活動を通して、お互いを思いやる気持ちを醸成し、自己肯定感を高める機会となった。



▶ 地域の婦人会との連携事例

石川県立金沢北陵高等学校 ～駅構内の消毒作業の実施～

○生徒が利用する森本駅の消毒作業を金沢北陵高等学校といしかわ特別支援学校両校の生徒が合同で実施。

同日に同駅で地域の婦人会と金沢北陵高等学校 PTA が挨拶運動を行った。

○例年、金沢北陵高等学校、金沢向陽高等学校、いしかわ特別支援学校、PTA、地域の婦人会と連携協力して挨拶運動を実施。

○金沢市校下婦人会連絡協議会の掲げる「あいさつで始まる地域づくりに取りくもう」という目標のもと、連携を行っている。

★地域とのつながりが生まれ、教職員以外にも褒めていただいたり温かく励ましていただいたりする機会が増えることで生徒の自己肯定感の向上につながった。



▶ 校種間の連携事例

輪島市立門前中学校・県立門前高等学校 ～合同挨拶運動の実施～

○門前地区の中高一貫教育の一環として、平成 13 年度から実施。

○活動場所は中学校・高校の玄関付近。中学生、高校生が一緒に挨拶運動に取り組んでいる。

○「高校生や、いつもは話をしないような人と話ができたり、中学生や高校生と分け隔てなく挨拶ができたりしてよかった」といった中学生の前向きな感想がみられた。

★中高校生が互いにコミュニケーションがとれる機会となっており、中学生にとって高校を知るきっかけにもなっている。



2. 学校での取組



【 県立金沢泉丘高等学校 】

活動名称

自ら改善できる生徒集団の育成

活動内容

【通学バスにおける乗車マナーに関する苦情の投書への対応】

5月10日、A4で4枚の苦情の投書が届く。内容は、バスでの乗車マナーがことのほか悪い。具体的には、背負ったリュックが邪魔である、奥へと詰めない、お年寄りや子どもに席を譲ったのを見たことがない、といったもの。

通常は、こういった苦情があれば、ホーム担任を通じて注意を促したり、集会で生徒指導の先生が説教をしたりするところを、生徒指導課の教員は生徒会執行部に投書を見せ、自ら解決へ動くように促した。

生徒会執行部は、その週のうちに、緊急の生徒集会を開催し、バス乗車マナーについての宣言の決議を提案。



〈生徒集会当日の内容〉

- ・生徒全員に投書を読ませる
- ・緊急生徒集会宣言の決議

私たちは公共交通機関を利用する場合は、周囲の方に気を配り、迷惑をかけないように努めます。

1. 高齢者や体の不自由な方が乗車されたときは席を譲ります。
2. 乗車したときは、入り口に立ち止まらずに、奥につめます。
3. リュックはおろす、または前でかつぐ、座る場合は膝の上に乗せて、通行や着席上に乗せて、通行や着席の邪魔にならないようにします。

- ・クラスごとに協議→協議内容を提出させ、全クラス分を集約して返して、共有



※ 生徒の主体性を重視し、教員は見守るというスタンスをとることとした。

感想・今後に向けて

教員は、「生徒たち自身に解決を考えさせよう」と、大きく方針を変えた。これは「本校の生徒たちなら自分たちで解決できるのではないか」と生徒たちを信頼したからにほかならない。生徒たちは、未熟な子どもの集まりではなく、責任がとれる大人の集団としてリスペクトされて、「自分たちのことだから」と解決へ動いた。目指すものは同じでも、その方法は、「指導し、従わせる」よりも、「信頼し、任せる」方が美しく、遙かに尊い。

▶ 感謝の気持ちを伝える事例

七尾市立山王小学校 ～横断歩道で止まってくれた運転手へのお辞儀の奨励～

- 交差点や横断歩道で止まってくれた運転手に「ありがとう」という気持ちをこめたお辞儀を奨励。(七尾市全体の取組)
- 山王あいさつデー(毎月1日と15日に、校区で取り組んでいるあいさつ運動)には通学路で、横断歩道を渡る児童に横断歩道を渡る前や渡り終えた後、進んで運転手にお辞儀するよう声かけをしている。

★地元の人からの声

「横断歩道で止まったら、児童がお辞儀をしてくれて、気持ちがよかった。」との電話をいただいた。

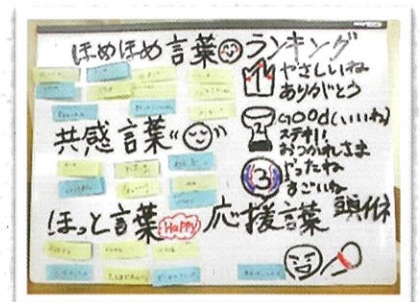
ありがとう
ございます！



▶ 友達と認め合う活動事例

金沢市立泉小学校 ～友達と認め合う交流週間～

- 全校で期間を決めて、友達の「素敵だな」と思うことを指定の用紙に児童が書き、内容を各学級で掲示、お互いに見合い、交流。
高学年では、「自分が言われてうれしい言葉」を出し合い、どんな気持ちになるかを交流。
- 「〇〇さんの言葉に勇気づけられた」「〇〇さんと一緒にいるとうれしくなる」といった相手の存在を大切に思う記述が多くみられた。
- ★友達から褒められることで自己肯定感が向上し、さらに友達のよいところを自分も見つけていこうとする意識も向上した。



▶ よい行動をとる生徒を紹介する事例

津幡町立津幡南中学校 ～校内放送を使った模範生徒の紹介「キラリ人」～

- 教職員が生徒の「気づきの心」「グッドマナー」についてカードに記入し、1週間分のカードを金曜日の給食時に今週の「キラリ人」として校内放送で全校生徒に紹介。
紹介後、校内に掲示。
- 落とし物を拾って交番に届けて最後まで対応したことや、積極的に清掃に取り組む様子について感謝の言葉を添えて紹介しており、生徒からも好評である。

- ★「気づきの心」や「グッドマナー」について自分も実践しようという気持ちが醸成されている。



3. 市町の取組



▶ 各団体と連携協力を推進する事例

加賀市 ～グッドマナーキャンペーン実施場所の情報共有～

○市内小中学校のグッドマナーキャンペーンの活動実施場所を一覧にまとめたチラシを作成。各種団体に配布し学校と地域で一緒に挨拶運動を展開できるように工夫。

○チラシ配布先：小中学校、保育園、公民館、民生委員、保護司、石川県青少年健全育成委員等

★チラシ配布の効果

学校以外の外部の団体（公民館や保護司など）が協力しやすくなった。参加者から「子ども達とあいさつを交わすことで、参加した大人たちも元気をもらえた。」という声をいただいた。

「あいさつはいつでも どこでも だれとでも」
記載されている場所・時間に限らず、日頃から積極的なあいさつを心がけましょう

令和3年度	小学校のグッドマナーキャンペーン	実施場所と実施時間
天満さん前 8/31～9/3	大手橋前 8/31～9/3	小通筋通 8/31～9/3
7:40～8:00	7:40～8:00	7:40～8:00
春日町(清和園 公園入り口)	天神橋通 7:25～7:45	同町(旧サ クル前)
7:25～7:45	7:30～7:50	7:20～7:40
児童玄関前 9/13～16	東津・三木方面 (三木町駅前 電停) 9/28～30	橋坂方面 (7/28～7/30) 9/28～30
7:45～7:55	7:30～7:40	7:20～7:30
奥谷が丘 入り口	地区会館 交差点	学校 正面階段下
7:20～7:40	7:20～7:40	7:20～7:40
南郷町 山岸	上河崎 境内	下河崎 市郷
		小学校

チラシの裏面に
実施場所、時刻
の一覧を掲載。



4. 大人のマナー向上



▶ 大人への啓発活動例～保護者への呼びかけ、職員間の共通理解～

白山市立松任幼稚園

○挨拶や交通安全、公共マナーの向上についてプリントを作成し、保護者に配付。

○作成したプリントをもとに、職員でグッドマナーについて話し合う場を設け、取組に向け共通理解。

★保護者にプリントで啓発することに加え、玄関前にグッドマナーキャンペーンののぼり旗を立て、役員が立ったことで、子どもも大人もマナーを意識していた。



金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園

○学年懇談会（オンラインで実施）において、参加保護者に挨拶や公共マナーの向上、交通マナーの向上を周知。

○職員会議や朝礼時に、職員間でグッドマナーキャンペーンの期間中は特に重点目標について共通理解を図り、幼児のモデルになるように意識して行動。

★保護者が意識するようになったことで、幼児も学校の守衛さんに自分から挨拶したり、お礼を伝えたりするなど、挨拶を意識する様子がみられるようになった。



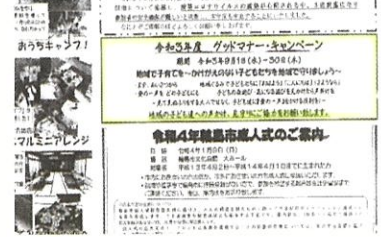
5. 周知活動



▶ 周知活動の工夫例



＜小松市 プラカードによる挨拶運動の実施＞



＜輪島市 公民館館報による周知＞



＜羽咋市 啓発カード・相談電話カードの配布＞



＜金沢大学人間社会学域学校教育学類附属
特別支援学校 独自の挨拶運動のTシャツ作成＞

グッドマナーキャンペーンとは？

心の教育を推進する団体、企業、市町、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が連携・協力しながら、まず、大人が模範となり、青少年に公共マナーの大切さや交通ルールの遵守等を呼びかけ、**グッドマナーとは何か一人ひとりが考え、行動につなげるキャンペーン**です。



【令和3年度取組期間】 令和3年9月1日（水）～30日（木）

※各団体の実状に応じて1週間程度取り組む

【令和3年度取組内容】

- ① 場所 通学路、駅・バス停、交差点、横断歩道、電車・バス車内、繁華街、職場内等
- ② 時間 登下校時、その他必要な時間
- ③ 活動内容
大人が模範となり、青少年に公共マナーの大切さや交通ルールの遵守等を呼びかけ、グッドマナーとは何か一人ひとりが考え、行動につなげる。
- ④ 重点目標
 - ・気持ちのよい挨拶をしよう！
 - ・信号のない横断歩道では、歩行者優先の思いやりのある運転をしよう！
 - ・相手を大切にした発言、発信をしよう！



令和3年度参加人数 のべ136,629人

■発行／令和4年3月 心の教育推進協議会

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 TEL076-225-1839 FAX076-225-1838